（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あゆみ園第２放課後等デイサービス事業所

公表日　令和8年2月27日

利用児童数　１１名　　回収数　9

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8				・お手洗いを借りた時、とてもきれいで驚きました。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画（※3）が作成されていると思いますか。	8					
	7	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	8	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			1		
	9	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1				
	10	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2		3	3		
保護者への説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	2				
	12	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8					
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2		1		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6			2		
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			1		
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1	・訓練をしているのは知っています（こども達）。	
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1				
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	7			1		
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					
満足度	26	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					
	27	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	28	事業所の支援に満足していますか。	8					

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されていま。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	あゆみ園第２放課後等デイサービス事業所

公表日　令和8年2月27日

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			・個々の活動やグループで活動もあるのでとてもよい。 ・安全を考慮し、十分な広さを確保できるようにしている。	・広々とした遊べる所、きちんとしたクールダウンルーム、ひびかない環境作りを頑張ります。 ・定員に対しては適切であると思うが、中高生対象なので、身体が大きく、もう少し広くでもよいかなと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4				・子どもの数に対して職員は妥当だと思う。しかし、個々に対応したいと思う場面が多いのでもう少し増えるとありがたいです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		・個室もあり、何か不安定になった時にそこで落ち着ける空間があるのはとてもよいと思います。	・スライド扉が外れやすく、困ってしまう利用者がいる。 ・床、壁、窓は少し刺激になっている気がします。 ・出入口が(玄関のみ)で必要な時はサッと出入口利用している。勝手口があると良かったなといつも思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			・クールダウンルームが設置でき、効果的に使われている。	・清潔を保てるよう毎日掃除をしているが、掃除に30～40分かかってしまう。それ＋αやりたい所があると他の業務にさしつかえてしまう。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			・クールダウンルームが設置でき、効果的に使われている。 ・気持ちを落ち着かせたいときや個別の支援をしたいときの場所を整えている。 ・余暇の時間等自分の好きな場所を使い、過ごすことが出来ている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・保護者の意向にそえる様話し合いをもうけたり改善につとめている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・週に1回、ミーティングを行っている。 ・会議等で話し合い、改善に前向きに努力している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			・外部研修に研修に参加した職員が伝達研修をしている。 ・時間をつくり、研修の時間を使っている。	・外部研修の機会が減っているように感じる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				・作成、公表されているが、自分自身のスキルが低く、なかなか行えていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	3	1		・計画に沿った支援が出来る様、常に話し合いの場を設け支援している。	・今後、共有を強化したい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			・話し合いを設け、立案を行なっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			・話し合いを設け、プログラムを組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			・その日の活動や支援を毎日確認している。 ・打ち合わせを行なっているが、出来ない時はノート、ホワイトボード等を使い確認し、支援を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4			・当日行なえない時もあるが、次の日等、利用者のいない時間に振り返り共有している。	・話し合っているが、子どもの帰る時間が勤務時間終了後なので、その日ではなく次の日になることも多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			・毎日記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1			・話し合いはするが、適切な見直しに至っていない。

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			・選択が出来る様、複数の選択肢を用意している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1			・医療との連携をもっと行いたいと思っているが、個人情報保護の観点からも難しい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		・送迎時、各担任の先生と話しをし、確認している。	・もっと密で、後に残るような連携をしたいと思うが、なかなかできない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4				
	31	児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	1	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	1	・児発管と管理者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4				
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		・管理者が行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	3	1		・管理者が行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている	4				
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			・毎月の月別活動予定表を出している。SNSにもチャレンジしたい。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4				・確認しているが、自分の知識が不十分。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			・現在アレルギーのある利用者はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			・定期的に研修を行ない再確認している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				

保護者の皆様の評価結果を参考にさせて頂きながら、事業所としての自己評価を行い、職員で討議致しました。

今後利用者の方達の強みを生かし、自立していく為の支援が出来る様に更なる質の向上に努めていきたいと思います。